

を推進していきます。

飛驒地域では平成14年3月、任意の「飛驒地域合併推進協議会」を設立。同年12月に法定協議会に移行し平成16年11月までの間、4,071項目に及ぶ事務事業を協議しました。

平成16年5月の合併協定調印式後、各市町村議会で廃置分合をはじめ合併関連議案が可決。県知事への申請や県議会での議決を経て、総務大臣から同年11月5日付で、平成17年2月1日をもって高山市に9町村を編入する廃置分合の告示が行われました。

平成17年2月1日の合併の前に、9町村では閉町式や閉村式が行われました。式典では地域の皆様が多数参加され、町村旗の降納や合唱などがあり



合併協定調印式(平成16年5月26日)



平成17年1月31日までの市町村

ました。

そして平成17年2月1日、市民文化会館で合併記念式典が行われました。式典では、オープニングで新市の中学生約950人による「ふるさと」と「大地讃頌」の合唱があり、新市の誕生を祝いました。

結びにあたり

市町村合併により高山市は、大阪府や香川県より広く、東京都とほぼ同じ面積を有する日本一広大なまちになりました。奥飛驒温泉郷や高地トレーニングエリア、乗鞍山麓五色ヶ原の森など、豊富になった地域資源を活かしながら、景気・環境・文化をキーワードに、市民の皆様と協働してまちづくりに取り組んでいます。

●合併市町村の沿革

	時期	内容	地名由来
高山市	明治8年1月31日	高山一之町他2村が合体し町制施行(高山町)	現在の城山に近江の多賀天神を祀り、天神山・多賀山と称したことによる
	大正15年10月1日	高山町に灘村が編入合併	
	昭和11年11月1日	高山町と大名田町が合体し市制施行(高山市)	
	昭和18年4月1日	高山市に上枝村が編入合併	
	昭和30年4月1日	高山市に大八賀村が編入合併	
丹生川村	明治8年2月18日	新張村他31村が合体	村を流れる丹生川(小八賀川)による
清見村	明治8年7月29日	三日町村他28村が合体	諸河川の源流として清水とし、キヨミズの水(ミ)を同音とした
	明治22年7月1日	上枝村として10村が分立	
荘川村	明治8年2月	六廐村他17村が合体	村の中央を流れる庄川による
宮村	明治8年2月	阿多粕村他11村が合体(位山村)	飛驒一宮水無神社の所在による
	明治16年10月	位山村が3村に分割(宮村)	
久々野町	明治8年2月	阿多粕村他11村が合体(位山村)	中世以来の郷名による
	明治16年10月	位山村が3村に分割(久々野村)	
	明治22年7月1日	久々野村に久須母村他4村が編入合併	
	明治30年4月1日	久々野村と河内村が合体(久々野村)	
朝日村	昭和29年4月1日	町制施行(久々野町)	「乗鞍岳から昇る朝日のように栄光あれ」と命名
	明治8年2月	甲村他24村が合体	
高根村	明治22年7月1日	朝日村から久須母村他4村が分立	御岳を望む高原があり、高峰を望み見る
	明治8年2月	中洞村他11村が合体	
国府町	明治8年2月	三川村他21村が合体(国府村)	広瀬地区に「コウ」の地名が多くあったことから命名
	昭和39年11月3日	町制施行(国府町)	
上宝村	明治8年7月	吉野村他29村が合体	上高原の高原(タカラ)に宝の字をあてた

出典：合併の記録(平成17年9月・高山市)